

看護学専修 高度実践看護師(がん看護専門看護師) 履修モデル

【期待される能力・修了後の主な進路】

がん医療の領域におけるがん看護専門看護師として、高度ながん看護を基盤としながら、調整、相談、教育、倫理調整、研究の役割を遂行するための能力を修得する。

修了後は、がん診療連携拠点病院、大学病院、総合病院、訪問看護ステーション、教育機関などにおいてがん看護専門看護師としての活躍が期待される。

2年次

【専門科目】

- がん看護学演習Ⅱ(2)
- がん実践看護実習Ⅱ(4)
- がん実践看護実習Ⅲ(4)

【特別研究】

- 実践看護課題研究Ⅰ(3)
- 実践看護課題研究Ⅱ(3)

1年次

【共通必修科目】

- IPW論(専門職連携実践論)(2)

【専門科目】

- コンサルテーション論(2)
- 看護理論(2)
- 看護研究(2)
- 看護倫理(2)
- フィジカルアセスメント(2)
- 病態生理学(2)
- 臨床薬理学(2)

【専門科目】

- がん看護学概論(2)
- がん病態生理学(2)
- がん看護学援助論Ⅰ(2)
- がん看護学援助論Ⅱ(2)
- がん看護学援助論Ⅲ(2)
- がん看護学演習Ⅰ(2)
- がん実践看護実習Ⅰ(2)

【学士課程において身につけておくことが望まれる能力】

学士課程における看護学の基礎的な科目全てを基盤とする。成人看護学領域、特にがん看護について、理論だけではなく臨床実践能力を有し、ケアとキュアの統合をめざして、多角的見解から検討し、多様な人々と協働して問題解決にあたる意欲をもつことが望まれる。